

作成日：R7年3月14日

令和6年度第10回 高松圏域自立支援協議会 運営会議議事録

日付	令和7年3月14日(金)
時間	9:20~10:50
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター研修室
参加機関等	香川中部支援学校、高松支援学校、高松市障がい福祉課、直島町住民福祉課、三木町福祉介護課、障害者就業・生活支援センターオリーブ、地域活動支援センタークリマ、かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設、ヒトトコ、障害者地域生活支援センターほっと、相談支援事業所ライブサポートセンター、障害者生活支援センターたかまつ、障害者生活支援センターあい、地域生活支援センターこだま、一般社団法人garyu、一般社団法人ええる、相談支援センターりゅううん、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 オブザーバー参加:香川県障がい福祉課 欠)自立ケアシステム香川 順不同 計26名

議題1：各部会活動進捗状況報告（令和7年度の目標も含む）

議事	<p>(就労支援部会)</p> <p>来年度は情報共有と勉強会を実施する予定。 参加事業所が減ってきている。参加されていない事業所への働きかけを検討していく。 就労選択支援事業についても部会内で共有していく予定。</p> <p>(精神保健福祉部会)</p> <p>コロナの影響で医療分野と希薄になっていたが、今年度はランコントロール企画で病院に訪問させていただいた。 現状、地域移行を受けてくれる相談支援事業所が2カ所ぐらいしかない。病院側も若いワーカーさんは地域移行を知らない。など課題が出てきた。</p>
----	--

(相談支援事業所部会)

計画を引き受けてくれる事業所を探すのに苦慮している現状がある。

2月にこども部会と合同で研修を実施した。具体的な内容を聞いて良かったという感想が多かった。

来年度、相談支援専門員の業務を振り返る機会やサビサポで質の向上、GSVのファシリテーターが行える人材育成を目標に取り組んでいく。

→サビサポの研修がとても有意義に感じた。回数を増やせても良いのではないかな？

→サビサポの研修と合わせて個別に相談支援事業所に対する研修が必要ではないかな？

相談支援専門員の法令遵守の基本的な事項を行えていない。6/12 日本相談支援専門員協議会から講師を招いて勉強会を実施する予定。

→サービス管理責任者が相談支援部会で実施している GSV に参加できるかな？

部会内の GSV は参加事業所数が多いのでエリアミーティングの単位が良いのではないかな？

(身体障害者支援部会)

来年度、日常生活用具に関する勉強会を実施する。

ピアサポーター啓発のチラシを作成する予定。

防災の取り組みが活発な地域に訓練に部会として参加していく。

(知的障害者支援部会)

2/26 に部会を開催し中部支援学校の教諭に改めて権利擁護の講義を受けた。来年度も当事者参加の部会を2回開催予定(9月、11月)

強度行動障害スーパーバイザー派遣事業のチラシを行政より送付してもらう。今年度は2件実施した。

(発達障害部会)

今年度、サポート校への聞き取りを実施した。聞き取りした内容から来年度の取り組みを検討していく。SNS を含めて啓発の方法も検討していく、従来の方法では若者の目に触れない。

(こども部会)

障害者生活支援センターあいが、改めて部会長として運営会議で承認される。事業所連絡会を実施し、参加者からは好評だったが集合形式を希望する声が多かった。

保育所等訪問について行政からお知らせがあった。来年度、教育との連携をテーマに取り組んでいく。

相談支援事業所部会とも連携して取り組みを検討していく。

→こどもに関する課題が増えている。圏域で来年度、どのように取り組んでいったらよいか検討していく必要があるのではないかと。

(医療的ケア部会)

来年度、部会メンバーを変更していく。現場の職員に参加していただく。

医ケア児の GSV を相談支援事業所部会と共同で実施していく予定。

身体障害者支援部会と合同で研修会も検討していく。

(居宅サービス事業所部会)

映画や講演会を実施する予定。

(当事者団体家族会部会)

来年度、合理的配慮をテーマに取り組んでいく。

(B 型事業所部会)

年2回座談会(現場職員向け、管理者向け) + 事業所見学会を実施した。

就労選択支援事業について相談支援事業所部会と連携して取り組みを考えていきたい。事業所指定についての課題を自立支援協議会で検討していきたい。

(権利擁護部会)

今年度、4回の研修を実施した。虐待防止研修に定員を大幅上回る参加者だった。来年度、成年後見制度に関する勉強会も実施していきたい。

→知的障害者支援部会でも家族に向けて意思決定支援や権利擁護に関する勉強会が必要を感じる。

(事務局)

・今回はオブザーバーで香川県障がい福祉課より2名参加。

・会則について委員会は部会内で設立できる。ワーキングは事務局内で設立する。

・来年度の予算について各部会で見直しが必要となる。

・GH ワーキンググループより部会としての活動希望あり。

部会長はコンサフォス、副部会長は竜雲学園が引き受けてくれる。今回の運営会議で部会として承認される。

議題 2：R7 年度協議会の目標について

議事

・協議会が目指す地域、そのための役割、2年間目標、取り組みを確認する。

議題 3：協議会への参加希望について

議事

・香川県自閉症協会より発達障害部会に参加希望あり。
→部会内で検討して返答する。
・綾川町のさつき(B型事業所)より高松圏域の部会の見学希望あり。
部会長、事務局で方向性を決め、5月に部会で承認を得る。
・当事者団体家族会部会の構成メンバーについて
香川県自閉症協会、難聴児者親の会に継続の意思等を部会長が確認する。
自由っこ広場は来年度も継続参加で承認されるが所属を改めて確認する。

議題 4：その他について

議事

○中部支援学校より「保育所等訪問支援について」
事業所より学校に突然、連絡があり学校も対応に苦慮した。改めて担当者会議を実施した結果、場面を限定して実施することになった。実施後に改めて担当者会で検証していく。
→三木町より
三木町でも同様な案件が起きている。児童発達支援センターKusu の木より対象の事業所に実習していただいた。
→高松市より
教育側でも知られていない。4月以降の校長会で周知啓発を実施していく。
○支援センターgaryu より
病院の受診拒否について、強度行動障害がある方も受診拒否された。訪問診療で対応したが、今後取り組んでいかななくてはならない課題である。
○圏域アドバイザーより情報提供
自立準備ホームから住居探しをしたケースで逮捕地、住民票、矯正施設が違う場合が居住地特例で行政と上手くやりとりできず支給が遅くなった。
○香川県障がい福祉課より
各部会の報告を受け、いろいろな取り組みに参加してみたい。
部会数については、やはり多いので、部会同士で合同で実施する等の工夫

	があれば良いのではないか。部会を解散する時の会則も必要なのではないか？
--	-------------------------------------

次回 R7年4月11日(金)9:20-10:50

かがわ総合リハビリテーションセンター第1研修室